



八幡平市市制20周年

～ 八幡平市は令和7年9月1日に市制20周年を迎えます ～

令和7年7月八幡平市定例記者会見

日 時：令和7年7月3日(木) 午前11時～
場 所：八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

1 開会

2 市長挨拶・発表項目の説明

(1) りんどう栽培ミッションに挑戦する地域おこし協力隊を募集します

－ 栽培技術を継承し、将来的な後継者の育成を目指します －

(2) 市内小学校児童が地域伝統の相撲に取り組みます

－ 平館小と大更小児童の豆力士が会場を沸かせます －

(3) 第38回ジュニアサマージャンプ大会を開催します

－ 県内唯一のサマージャンプ台で開催する大会に、県外からも選手が集います －

(4) 市指定無形民俗文化財を一般公開します

－ 古くから伝わる市内の民俗芸能が鑑賞できます －

(5) 八幡平市市制20周年記念

八幡平ふるさと花火まつりを開催します

－ お盆の夜空を大輪の打ち上げ花火が彩ります －

(6) 八幡平市市制20周年記念

第28回少年少女の詩「江間章子賞」の作品を募集します

－ 自然や日常生活をモチーフに心に浮かんだ情景を詩で表現 －

(7) 八幡平ヒルクライム2025の出場者を募集しています

－ 標高差・参加人数ともに県内最大の自転車レースです －

(8) あっぴりレーマラソンの参加者を募集しています

－ 仲間とタスキをつなぎ、42.195^{km}の完走を目指すレースです －

3 その他

4 質疑応答

5 閉会



八幡平市
Hachimantai City

※ 次回の定例記者会見

日時：令和7年8月4日(月) 11時00分から

場所：八幡平市役所本庁舎 3階大会議室

プレスリリース

りんどう栽培ミッションに挑戦する

地域おこし協力隊を募集します

栽培技術を継承し将来的な後継者の育成を目指します

【発表の要旨】

りんどう出荷量が日本一である八幡平市で「りんどう栽培ミッション」の活動を通じ、りんどう栽培のプロを目指す人を募集します。

ミッションでは、りんどうの栽培技術を習得するほか、JA新しいわてや花き研究開発センター等の関係機関、地域と共にりんどう生産の強化・生産拡大を図る活動に取り組みます。

- 1 募集人数 1名
- 2 委嘱予定日 10月1日(水)
- 3 任用形態 八幡平市会計年度任用職員
- 4 任用期間 1年（任用された会計年度の末日まで）、最大3年
- 5 応募資格 次の(1)から(6)の要件をすべて満たす人



手続き方法など



詳しくはこちら

- (1) 20歳以上55歳以下 ※技能継承、後継者育成のため
- (2) 心身が健康で、協力隊活動を意欲と情熱をもって行うことができる
- (3) 活動期間終了後も、本市に定住する意欲を持っている
- (4) 普通自動車運転免許の取得から1年以上経過し、日常的に普通自動車を運転できる（AT限定可）
- (5) パソコンを日常的に使用しており、一般的な操作(Excel、Word)を行う業務が可能
- (6) 別紙に記載の「八幡平市おためし地域おこし協力隊(りんどう栽培)」に参加し、プログラムを終了している

詳細は次のページへ

次ページに続く

【担当】

市民部まちづくり推進課

課長補佐兼定住促進係長

遠藤 由美子

電話 0195-74-2111（内線 1451）

おためしで

日本一のりんどう栽培を体験してみませんか

就農への理解の向上および円滑な協力隊活動の開始へつなげることを目的に、

2泊3日の「八幡平市おためし地域おこし協力隊（りんどう栽培）」プログラムを行います。

実際に地域おこし協力隊の活動にあたる際のイメージ作りに役立ててもらえるよう、現地のりんどう農家の方との交流機会を多く設定しています。

1. 募集の概要

実施内容	就農（りんどう栽培）・農泊体験、交流会への参加 ※農泊：生産者が営む民宿への宿泊を予定しています。
募集人数	最大5名
開催期間	6月30日から8月27日までのうち2泊3日 ※参加日程のご希望は応募の際に申し出てください。
申込期限	8月6日(水)まで※申込状況により募集を終了することがあります。
募集条件	地域おこし協力隊への応募が可能な地域（三大都市圏または政令指定都市）に住民票を有し、八幡平市で募集する地域おこし協力隊（りんどう栽培ミッション）への応募を検討している人
申込方法	応募用紙に必要事項を記入の上、市まちづくり推進課に提出
参加にかかる費用	交通費（往復交通費、市内移動時の電車賃）、交流会参加費、食費
持ち物	帽子、タオル、軍手、長靴、農作業がしやすい服、洗面道具等宿泊に必要なもの ※農作業体験時の作業用具については、市花き研究開発センターが用意します。

2. 日程 ※実施時期により内容が変更となる場合があります。

1日目	13：30 JR 花輪線北森駅集合 13：40 オリエンテーション 14：30 市内視察 17：30 宿泊施設で休憩 18：30 交流会
2日目	8：30 花き研究開発センター集合 8：35 体験①（安代りんどうについての説明、センターでの作業体験） 12：00 休憩 13：00 体験②（リンドウ生産者と交流、作業体験） 17：00 体験終了 17：30 宿泊施設へ移動し休憩
3日目	8：30 花き研究開発センター集合 8：35 体験③（作業体験） 11：00 体験の振り返り 11：50 おためしプログラム全日程 終了（予定）

手続き方法など



詳しくはこちら

※本プログラムへの参加は、地域おこし協力隊（りんどう栽培ミッション）応募の必須要件としておりますが、採用について確約するものではありません。



プレスリリース

市内小学校児童が地域伝統の相撲に取り組みます

平舘小と大更小の ” 豆力士 ” が会場を沸かせます

【発表の要旨】

本市は、相撲が盛んな地域として知られ、相撲クラブ「寺田道場」や、県内でも数少ない相撲部をもつ平舘高校がある「相撲のまち」です。

今年も市内では、地域に根ざす相撲の伝統をつなげようと、6月には寺田小が、地元企業の相撲部員を招き、相撲の指導を受けました。

今月は、市内の小学生が以下の行事で力強く相撲に取り組みます。

1 平舘小学校

行事名 平舘小学校相撲フェスティバル

日時 7月11日(金)
(開会式 13:15 ~)

会場 平舘小相撲場

内容

- ・平舘高校相撲部員同士の取組を見学・観戦
- ・1～2年児童は平舘高校相撲部員と相撲体験
- ・3～6年児童は、1人につき2番取組

事業の経緯など

コロナ禍前までは、子供会対抗で行っていましたが、伝統を繋ごうと、相撲に親しむ「フェスティバル」と形を変えて、令和5年に4年ぶりに開催。今年で3回目となります。



R6.7.12 平舘小

2 大更小学校

行事名 大更小PTA奉納相撲大会(PTA主催)

日時 7月15日(火) ※大更八坂神社例大祭
9:00 大更小ブラスバンド部演奏
9:10 開会式後、順次取組

会場 八坂神社境内相撲場

出場児童 4～6年児童がトーナメントで対戦

同日は他にも

同日は、1～3年生の児童が神輿体験として「子ども神輿」(今年で2回目)を担ぎ、大更小から八坂神社まで進みます。

運行時間 10:05～11:30(予定)



R6.7.15 八坂神社相撲場

【お問い合わせ】

平舘小相撲フェスティバルは
平舘小学校 副校長 小山田 義輝
TEL:0195-74-2216

【お問い合わせ】

大更小PTA奉納相撲は
大更小学校 副校長 瀬川 貴光
TEL:0195-76-2239

プレスリリース

第38回

ジュニアサマージャンプ大会を開催します

県内唯一のサマージャンプ台で開催する大会に、県外からも選手が集います

【発表の要旨】

地元選手の強化、ジャンプ競技の普及・周知、参加選手の交流、施設の有効活用を目的として「第38回田山ジュニアサマージャンプ大会」を開催します。

市内・県内はもとより北東北及び北海道などから精鋭たちが参加する大会です。

- 1 主催 (一財)岩手県スキー連盟、八幡平市、八幡平市教育委員会
- 2 主管 八幡平市スキー大会実行委員会
- 3 開催日 8月3日(日)
- 4 会場 岩手県営スキージャンプ場(八幡平市 矢神 地内)
- 5 大会概要 別紙開催要項のとおり、8つの種別に分け実施

過去の大会の様子

参加実績

第32回大会 49人

第33回大会 中止

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

第34回大会 61人

第35回大会 44人

第36回大会 37人

第37回大会 39人

【担当】

市民部文化スポーツ課

スポーツ推進係 松浦 和啓

電話 0195-74-2111 (内線 1147)

第 38 回田山ジュニアサマージャンプ大会開催要項

1. 主 催 (一財)岩手県スキー連盟 八幡平市 八幡平市教育委員会
2. 後 援 岩手県 岩手県教育委員会 (公財)岩手県スポーツ協会 (一社)八幡平市
体育協会 八幡平市スキー連盟 盛岡広域スポーツコミッション
3. 協 賛 MCCスポーツ(株) ミズノ(株) 田山民宿組合
4. 主 管 八幡平市スキー大会実行委員会
5. 期 日 令和7年8月3日(日)
6. 会 場 岩手県八幡平市『岩手県営スキージャンプ場』
7. 競技種別 (A) スモールヒル(小学4年生以下女子) HS:27
(B) スモールヒル(小学4年生以下男子) HS:27
(C) スモールヒル(小学5・6年生女子) HS:27
(D) スモールヒル(小学5・6年生男子) HS:27
(E) ミディアムヒル(小学生女子の部) HS:56
(F) ミディアムヒル(小学生男子の部) HS:56
(G) ミディアムヒル(中学生女子の部) HS:56
(H) ミディアムヒル(中学生男子の部) HS:56
※一人、一種目のエントリーとする。
※(A)・(B)・(C)・(D)は、アルペン板での参加を認める。
8. 日 程 令和7年8月2日(土)15:00~17:00 ジャンプ台開放
※水不足の場合、1人1本までの制限を設ける。
令和7年8月3日(日)8:30 試技開始
9. 参 加 料 小学生以下 1,500円 中学生 2,000円
※参加料は、いかなる場合においても返金しない。
10. 参加資格 (1)大会プログラムへの個人情報(所属・学年)の記載を承諾すること。
(2)傷害保険に加入している者
(3)本大会で自己責任に基づく事故発生の場合、個人(保護者)が責任を持てる者
(出場者は、ヘルメット及び手袋を必ず着用すること。)
11. 競技規則 この要項に定めた以外は、SAJ競技規則最新版に準じて実施する。
12. 表 彰 各組男女各6位まで表彰する。参加者全員に参加賞を贈る。

プレスリリース

市指定無形民俗文化財を一般公開します

古くから伝わる市内の民俗芸能が鑑賞できます

【発表の要旨】

市内には、古くから伝承されてきた多くの民俗芸能が存在します。

7月・8月には、市指定無形民俗文化財に指定された民俗芸能が、年中行事として披露を予定しており、市内の保存伝承団体は、この日のために一生懸命取り組み修練を重ねています。

この時期に公開される民俗芸能を紹介します。ぜひ取材、鑑賞にお越しください。

1 一般公開日時・場所 次ページのとおり

2 その他

- ・悪天候等により行事が中止となる場合があります。
- ・公開時間は変更となる場合があります。
- ・HP等での告知は行っていません。
- ・駐車場がないところがあります。

【担当】

市民部文化スポーツ課 生涯学習係
田中 美穂
電話 0195-74-2156（直通）

<< 7 月・8 月公開の民俗芸能について >>

No.	名 称	最寄駅 (JR 花輪線)	公開日	時間・場所
1	あにかわさきはら 兄川先祓い	兄畑駅 (南 3.7km)	7 月 20 日 (日)	14 時 ~ 兄川稲荷神社 16 時 ~ 兄川公民館付近
2	おりかべ ひどろさきはら 折壁・日泥先祓い	田山駅 (西 1 km)	7 月 20 日 (日)	正午 ~ 八幡神社 13 時 ~ 日泥公民館 16 時 ~ 石名坂公民館 18 時 ~ 八幡神社
3	たやまさきはら 田山先祓い	田山駅 (北東 1. 7 km)	7 月 19 日 (土) 7 月 20 日 (日)	20 時 ~ 神輿渡御 (田山稲荷神社) ~ 21 時 : 田山コミュニティセンター 16 時 ~ 田山本村巡回 (田山地区内巡礼) ~ 19 時 : 田山稲荷神社
4	よこまむしお 横間虫追い祭り	横間駅 (北 3 0 0 m)	7 月 20 日 (日)	11 時 ~ 正午 集落内巡礼 やがましろの館
5	のぐちしおどり 野口鹿踊	平館駅 (北 5. 1 km)	7 月 17 日 (木)	13 時頃 聖福寺 (例大祭)
6	いわてさんじんじゃやまぶしかぐら 岩手山神社山伏神楽	平館駅 (東 1 km)	7 月 23 日 (水)	15 時 ~ 16 時 (うち 15 分) 平館まちかど公園付近 (歩行者天国)
7	田山ぶっこみ太鼓	田山駅 (北東 1. 4 km)	8 月 16 日 (土)	19 時 30 分頃 田山消防会館

1 さきはら 先祓い

祭礼行事の神輿の前を踊りながら祓い清め、境内で輪になって舞うものです。

田山・館市地区の集落で広く踊られていました。現在は、棒を持って踊る田山、折壁・日泥先祓い、刀を持って踊るあにかわ まがた 兄川、曲田先祓いが伝承されています。隣の秋田県鹿角市八幡平地域では、兄川から伝えられたことから「兄川舞い」とも呼ばれています。

2 むしお 虫追い祭り

江戸時代の大飢饉で大変困った人々が藁人形に「五穀豊穡」「悪病退散」「領民安穩」の願いを込めて、太鼓を打ち鳴らしながら集落内を巡り歩いたことが始まりです。横間では男女一対の藁人形が特徴です。

3 ししおどり 鹿踊

起源は、獲物になった鹿の供養や、鹿を神獣とする春日大社と結びつけた奉納を起源とする説など諸説あります。

野口鹿踊の踊り手は、太鼓を持たない「幕踊り系」の奉納舞です(県南では太鼓を持つ「太鼓踊り系」)。

白坂観音堂を祀る聖福寺の例大祭の時に市指定有形文化財「七面観世音像」の御開帳を奉納する踊りです。

4 かぐら 神楽

神楽とは、神を祀るために演じられる神事芸能のことを言います。

岩手県は、神楽が最も多く無形民俗文化財に登録されています。その中で最も多く伝承されているのが山伏神楽です。ユネスコの無形文化遺産に登録されている花巻市の早池峰神楽や、国の重要無形民俗文化財である宮古市の黒森神楽、普代村の鶴鳥神楽はいずれも山伏神楽に分類されます。

いわてさんじんじゃやまぶしかぐら だいせんいん こやすじぞうぞんさいてん
岩手山神社山伏神楽は、大泉院の子安地藏尊祭典の時に一般道の歩行者天国で平館小の小学生が踊ります。

5 ぶっこみ太鼓

送り盆行事で最初と最後に行われる太鼓行列。田山地区の送り盆行事「田山盆踊り」の際に行われています。

田山本村周辺の集落の住民が、大太鼓を打ち鳴らしながら、各集落から勇壮なかけ声と共に手提げ提灯を上下させ、盆踊り会場の田山消防会館に向い、田山本村側でも太鼓を叩きながら行列を途中まで迎え太鼓で出迎えます。

プレスリリース

八幡平市市制 20 周年記念

第 20 回

八幡平ふるさと花火まつりを開催します

お盆の夜空を大輪の打ち上げ花火が彩ります

【発表の要旨】

嗜好を凝らした大迫力の花火が約 40 分にわたって夜空を照らす「八幡平ふるさと花火まつり」を今年も開催します。

毎年お盆の時期に開催する恒例イベントとなった花火まつりは、太鼓の演奏や数多くの飲食屋台が出店し、多くの人でにぎわいます。

里帰りする帰省客や市民が、ふるさとで夏の風物詩を楽しみ、その良さを体感・再認識してもらうとともに、郷土愛や地域の連帯意識の向上を図ることを目的としています。

1 **主催** 八幡平市観光イベント実行委員会（事務局：（一社）八幡平市観光協会）

2 **開催日** 8月15日（金）※荒天中止

3 **会場** 八幡平市松尾総合運動公園

4 **内容**

- ・午後1時～ 開場、屋台出店
- ・午後5時～ オープニング（松川一の宮太鼓 他）
- ・午後7時20分～ 花火打ち上げ

今年は開場時間を1時間繰り上げ、
13時からとしました。

5 **その他**

当日は会場周辺の交通規制を実施します。

車両の円滑な運行と歩行者の安全を考慮した交通整理を行います。

6 **問い合わせ先**

八幡平市観光イベント実行委員会

TEL:0195-78-3500

【担当】

産業建設部 商工観光課 観光振興係

主事補 山口 和桜

電話 0195-74-2111（内線 1319）



昨年の様子

プレスリリース

八幡平市市制 20 周年記念

第 28 回

少年少女の詩「江間章子賞」の作品を募集します

自然や日常生活をモチーフに心に浮かんだ情景を詩で表現

【発表の要旨】

八幡平市では、市ゆかりの詩人で名誉市民である「江間章子先生」の功績を顕彰するため、平成10年度に少年少女の詩「江間章子賞」を創設し、毎年作品を募ってきました。

今年も、児童生徒が先生の詩の心を引き継ぎ、豊かな心を培うことを願い、県内小・中学校を募集範囲として作品を募集します。

- 主催** 八幡平市
- 主管** 八幡平市教育委員会、八幡平市児童詩研究会
- 後援** IBC岩手放送、岩手日報社
- 応募資格** 岩手県内小・中学校の児童生徒
- 応募内容** 身のまわりの四季折々の自然(山・川・海・草木など)、友だち、家族、手伝いなどの生活から生まれた「思い」、市制 20 周年にちなみ、八幡平市の夢や未来を描いた詩
- 応募締切** 8月22日(金)
- 入賞**

部門	小学校(低学年・中学年・高学年)、中学生の計4部門
賞	江間章子賞(各部門1編) 八幡平市長賞(各部門1編) 八幡平市教育長賞(各部門1編) 入選(各部門5編)
- 授与式**

日時	11月3日(月)
場所	西根地区市民センター
内容	江間章子賞、市長賞、教育長賞の受賞者(計12名)に賞状授与 選考委員長の審査評 江間章子賞受賞者(4名)の詩の朗読 ※ 八幡平市市民憲章推進大会内で実施します。 ※ 受賞者には、 <u>安比塗</u> の賞状を授与します。



市ゆかりの詩人 江間 章子先生
八幡平市名誉市民

詩人。大正2年3月13日、新潟県高田市(現上越市)生まれ。

大正4年に父が急逝し、少女時代を母の郷里、平館村(現八幡平市平館)で過ごした(平館小学校に6年生まで在籍)。

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬・・・」で有名な『夏の思い出』の作詞などで知られ、現代詩人会会員、日本文芸家協会、日本音楽著作権協会評議員としても活躍した。

平成17年3月12日、東京都内の病院で逝去(享年91歳)。

西根第一中学校校歌や、平館小学校創立100周年記念讃歌を作詞したほか、平成10年に創設した少年少女の詩「江間章子賞」の初代選考委員長も務めた。

西根町名誉町民
(平成7年11月2日)
八幡平市名誉市民
(平成17年9月1日)
東京都世田谷区名誉区民
(平成4年)
群馬県片品村名誉村民
(平成10年)

【担当】

教育委員会事務局教育総務課

総務係長 橋場 忍

電話 0195-74-2111 (内線 1362)

プレスリリース

ひたむきに坂を登る自転車レース

八幡平ヒルクライム2025の出場者を募集

標高差・参加人数ともに、県内最大の自転車レースです

【発表の要旨】

今年も八幡平アスピーテラインを会場に、山地等の急こう配を自転車で登る「八幡平ヒルクライム」を開催します。八幡平ヒルクライムは、スタート地点からゴール地点までの標高差が1,083 mと県内大会では最大で、最も挑みごたえのあるレースとして知られ、県外からも多くの「坂好き」が集います。過去最大の500人のエントリーを目指し、7月22日(火)を期限に出場申し込みを受け付けています。

1 主催 八幡平ヒルクライム実行委員会

2 共催 八幡平市

3 開催日時・場所

8月31日(日) さくら公園イベント広場・八幡平アスピーテライン

受付 5:30～6:30

開会式 7:00～

競技時間 7:20～10:00

表彰式 12:00～

4 参加申込等

参加料 8,400円

(ビギナー、ジュニアショートコースは5,775円)

申込期限 5月19日(月)から7月22日(火)まで

申込方法 インターネットによる申し込み (WEBエントリー)
<https://hachimantai-hillclimb.com>

5 交通規制

規制日時 8月31日(日) 7:00～11:30

規制区間 岩手県側八幡平アスピーテライン

(松尾八幡平ビジターセンター前交差点～
八幡平山頂手前岩手県側路側帯)

規制内容 車両通行止め

八幡平ヒルクライム

▶今年で8回目

▶これまでのエントリー数

R7 218人 (6/26 現在)

R6 443人

R5 407人

R4 355人

R3 348人 (コロナで中止)

▶コースデータ

距離 19.1 km

最大標高差 1,083 m

獲得標高 1,134 m

申し込み方法



大会公式ウェブ

過去の大会の様子

【担当】

市民部文化スポーツ課

スポーツ推進係 小田島 敦

電話 0195-74-2111 (内線 1145)



プレスリリース

あっぴりレーマラソン 2025 の参加者を募集

仲間とタスキをつなぎ、42.195^{*}の完走を目指すレースです

【発表の要旨】

2 kmの周回コースを利用し、リレー形式でフルマラソンの距離(42.195km)を走るもので、タスキをつないで仲間との絆を感じながら楽しめるマラソン大会です。
8月4日(月)を期限に、出場チームの申し込みを受け付けています。

- 1 **主催** あっぴりレーマラソン大会実行委員会
- 2 **開催日時** 9月14日(日) 午前10時スタート
- 3 **会場** 安比高原特設コース
- 4 **大会概要**
 - 募集チーム数 300チーム程度
 - 参加資格 6歳以上の男女
 - 競技方法 1チーム4人以上10人以内でチーム編成し、1周2kmの周回コースを21周と195m、42.195kmをタスキをリレーして走る。
制限時間は4時間30分とし、走順や走る回数はチームが自由に設定できる。
 - 参加料 高校生以下2,000円／大人2,500円(消費税、保険料込)
 - 参加締切 8月4日(月)午後3時 ※定員になり次第締め切り
 - 申込方法 公式ホームページで申込 <https://www.tvi.jp/>
- 5 **参加実績**

2024大会	254チーム	2,196人
2023大会	204チーム	1,760人
2022大会	181チーム	1,533人
2021大会	25チーム	150人(アプリを使ったウェブ開催)
2020大会	中止	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
2019大会	350チーム	2,997人

申し込み



TVI公式サイト

【担当】

市民部文化スポーツ課 スポーツ推進係
係長 清川 智紀
電話 0195-74-2111(内線1142)

過去の大会の様子

